おサイフケータイ／トルカについて

■ おサイフケータイ
おサイフケータイは、ICカードが搭載されておりお店などの読み取り機にFOMA端末をかざすだけで、お支払いやクーポン券、スタンプラリーなどがご利用いただける機能です。
さらに、読み取り機にFOMA端末をかざしてサイトやホームページにアクセスしたり、通信を利用して最新のクーポン券の入手、電子マネーの入金や利用状況の確認などができます。また、安心してご利用いただけるよう、セキュリティ[*1]も充実しています。おサイフケータイの詳細については『ご利用ガイドブック（ｉモード<FOMA>編）』をご覧ください。
※ おサイフケータイ対応サービスをご利用いただくには、必要に応じておサイフケータイ対応サイト[*2]よりおサイフケータイ対応ｉアプリをダウンロード後、設定を行ってください。なお、サービスによりおサイフケータイ対応ｉアプリのダウンロードが不要なものもあります。

＊1：おまかせロック、ICカードロックをご利用いただけます。（→P.41）
＊2：[メニュー] ▶「メニューリスト」▶「【生活情報】おサイフケータイ」

- FOMA端末の故障により、ICカード内データ（電子マネー、ポイントなど含む）が消失・変化してしまう場合があります（修理時など、FOMA端末をお預かりする場合は、データが残った状態でお預かりすることができませんので原則データをお客様自身で消去していただきます）。データの再発行や復元、一時的なお預かりや移し替えなどのサポートは、ｉCお引っこしサービスによる移し替えを除き、おサイフケータイ対応サービス提供者にご確認ください。重要なデータについては必ずバックアップサービスのあるサービスをご利用ください。
- 故障、機種変更など、いかなる場合であっても、ICカード内データが消失・変化、その他おサイフケータイ対応サービスに関して生じた損害について、当社としては責任を負いかねます。
- FOMA端末の盗難、紛失時は、すぐにご利用のおサイフケータイ対応サービス提供者に対応方法をお問い合わせください。

■ トルカ
トルカとは、おサイフケータイで取得できる電子カードで、チラシやレストランカード、クーポン券などの用途で便利にご利用いただけます。トルカは読み取り機やサイト、データ放送などから取得が可能で、メールや赤外線通信、ｉC通信、microSDカードを使って簡単に交換できます。
- トルカの詳細は『ご利用ガイドブック（ｉモード<FOMA>編）』をご覧ください。

おサイフケータイを利用する

FOMA端末の[FeliCa]マークを読み取り機にかざし、電子マネーとして支払いに利用したり、乗車券の代わりなどとしてご利用できます。
- 電源が入っていないときや電池残量が少なくなってからも、[FeliCa]マークを読み取り機にかざしてICカード機能をご利用いただくことができます。

ｉコンシェル

ｉコンシェルとは、執事やコンシェルジュのように、お客様の生活をサポートするサービスです。お客様のさまざまなデータ（お住まいのエリア情報、メモ、スケジュール、トルカ、電話帳など）をお預かりし、メモやスケジュールの内容、生活エリアやお客様の居場所、趣味嗜好にあわせた情報を適切なタイミングでお届けします。FOMA端末に保存されたメモやスケジュール、ToDoに対して、関連する情報をお伝えしたり、スケジュールやトルカを自動で最新の情報に更新したり、電話帳にお店の営業時間などの役立つ情報を自動で追加したりもします。また、お預かりしているスケジュールや画像を友達や家族などのグループと共有することができます。お預かりしている画像は簡単にプリントすることもできます。ｉコンシェルの情報は、待受画面上でマチキャラ（待受画面上のキャラクター）がお知らせします。

■ ｉコンシェルのご利用にあたって

- ｉコンシェルはお申し込みが必要な有料サービスです（お申し込みにはｉモードの契約が必要です）。
- ケータイデータお預かりサービスのご契約をされていないお客様が、ｉコンシェルを新たにご契約になる場合、同時にケータイデータお預かりサービスにもご契約いただいたことになります。
- コンテンツ（インフォメーション、ｉスケジュールなど）によっては、ｉコンシェルの月額使用料のほかに、別途情報料がかかる場合があります。
- インフォメーションの受信には一部を除いて別途パケット通信料がかかります。
- 詳細情報のご利用には別途パケット通信料がかかります。
- 国際ローミングサービスご利用の際は、受信・詳細情報の閲覧共にパケット通信料がかかります。また、海外でご利用の場合は、国内でのパケット通信料と異なります。
- ｉコンシェルを海外でご利用になる場合は海外利用設定が必要となります。
- ｉスケジュール／メモ／トルカ／電話帳の自動更新時には別途パケット通信料がかかります。
- ｉコンシェルの詳細は『ご利用ガイドブック（ｉモード<FOMA>編）』をご覧ください。

インフォメーションを受信する

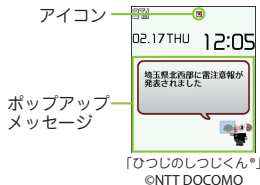
インフォメーションを受信すると、画面の上部に「」が表示されます。

❶ **待受画面 ▶ ポップアップメッセージを選択**

「ひつじのしつじくん®」
©NTT DOCOMO

ｉコンシェルを表示する

❶ MENU ▶ 「ｉコンシェル」

より便利に

スケジュールを利用する

スケジュールを登録しておくと、設定した日時にアラーム音が鳴り、アラームメッセージとアニメーションで登録した内容をお知らせします。

1 MENU ▶「便利ツール」▶「スケジュール」▶ 日付を選択 ▶ MENU［サブメニュー］▶「新規登録」▶ 各項目を入力 ▶ 📷［完了］

アラームを利用する

1 MENU ▶「便利ツール」▶「アラーム」▶ アラームを選択 ▶ 📷［編集］▶ 各項目を入力 ▶ 📷［完了］

バーコードリーダーを利用する

カメラを利用しJANコード、QRコード、CODE128を読み取ります。

・FOMA端末が揺れたりしないようにしっかり持って操作してください。
・バーコードを読み取るときは、カメラをバーコードから約10cm離してください。

1 MENU ▶「便利ツール」▶「バーコードリーダー」▶ バーコードを認識範囲に表示すると自動的に読み取り開始 ▶ MENU［サブメニュー］▶「登録」▶「YES」▶「OK」

おしらせ

- JANコード
  右のJANコードをFOMA端末で読み取ると「4942857113068」と表示されます。
- QRコード
  右のQRコードをFOMA端末で読み取ると「株式会社NTTドコモ」と表示されます。
- CODE128
  CODE128を読み取るには対応しているｉアプリをダウンロードする必要があります。
  右のCODE128をFOMA端末で読み取ると「NTTDOCOMO」と表示されます。

Bluetooth機能

Bluetooth 機器をFOMA端末に登録する

使用したいBluetooth機器が未登録のときは、最初に登録します。Bluetooth機器は10件まで登録できます。登録したいBluetooth機器は、あらかじめ登録待機状態にしておきます。

1 MENU ▶「便利ツール」▶「Bluetooth」▶「登録機器リスト」▶「YES」▶「OK」▶ 登録するBluetooth機器を選択 ▶「YES」▶ Bluetoothパスキーを入力 ▶「確定」

Bluetooth 機器と接続する

登録したBluetoothを利用してワイヤレスで接続し、通話をしたり音楽を聴いたりできます。

1 MENU ▶「便利ツール」▶「Bluetooth」▶「登録機器リスト」▶ 接続するBluetooth機器を選択 ▶ サービスを選択

■ さまざまな機器と接続するには

ヘッドセットやハンズフリーで通話するには「ヘッドセット」または「ハンズフリー」を選択します。オーディオ機器で再生するには「オーディオ」を、ワイヤレスでBluetooth対応パソコンなどと接続するには「ダイヤルアップ」を選択します。

Bluetooth 接続でデータを送受信する

Bluetooth通信機能を搭載したほかのBluetooth機器との間で電話帳や受信メールなどのデータを送受信します。相手側の機器によっては送受信できないデータがあります。

1 送信したいデータを1件表示して MENU［サブメニュー］▶「Bluetooth送信」▶ 相手側の機器を受信状態にする ▶ Bluetooth機器を選択 ▶「YES」

■ データを1件受信する場合

MENU ▶「便利ツール」▶「Bluetooth」▶「Bluetooth受信」▶「受信」▶ 相手のBluetooth機器からデータ送信 ▶「YES」

microSDカードを利用する

本FOMA端末では市販の2GバイトまでのmicroSDカード、32GバイトまでのmicroSDHCカードに対応しています（2010年11月現在）。

- フォーマットは必ずN-03Cで行ってください。ほかの端末やパソコンでフォーマットしたmicroSDカードは、使用できないことがあります。
- microSDカードの製造メーカや容量など、最新の動作確認情報については下記のサイトをご覧ください。また、掲載されているmicroSDカード以外については、動作しない場合がありますのでご注意ください。
  - ｉモードから（「みんなＮらんど」への接続のしかた）
    - ・デスクトップアイコンの「」（みんなＮらんど）を選択→P.27
    - ・ ▶「メニューリスト」▶「ケータイ電話メーカー」▶「みんなＮらんど」
  - パソコンから
    http://www.n-keitai.com/
    なお、掲載されている情報は動作確認の結果であり、すべての動作を保証するものではありませんので、あらかじめご了承ください。
- microSDカードはFOMA端末の電源を切った状態で取り付け／取り外しを行ってください。
- microSDカードにラベルやシールを貼らないでください。
- microSDカードに保存されたデータは、バックアップを取るなどして別に保管してくださるようお願いします。万が一、保存されたデータが消失または変化しても、当社としては責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

microSDカードを取り付ける／取り外す

❶ リアカバー、電池パックを取り外す（→P.18、P.22）

❷ microSDカードスロットにmicroSDカードを差し込み、ロックされるまで押し込む

microSDカードの金属端子面を下にしてゆっくりとまっすぐに差し込んでください。完全に奥まで押し込むとロックされます。

❸ 電池パック、リアカバーを取り付ける（→P.19、P.22）

microSDカードを取り付け後、電源を入れると、「」が表示されます。

・取り外すには、microSDカードを押し込んで手を放します。microSDカードが少し出てきます。このとき、microSDカードが飛び出すこともありますのでご注意ください。microSDカードの溝の部分を持ち、まっすぐにゆっくりと抜きます。

microSDカードをフォーマットする

microSDカードのフォーマットを行うと、microSDカードの内容がすべて消去されますのでご注意ください。

1 MENU ▶「便利ツール」▶「microSD」▶「microSDデータ参照」▶ MENU［サブメニュー］▶「microSDフォーマット」▶ 端末暗証番号を入力 ▶「YES」

microSDカードのデータを表示する

＜例：スケジュールを表示する＞

1 MENU ▶「便利ツール」▶「microSD」▶「microSDデータ参照」▶「スケジュール」▶ ファイルを選択 ▶ データを選択

データをmicroSDカードへコピーする

1 各データの一覧画面（電話帳一覧画面など）で MENU［サブメニュー］▶「microSDへコピー」▶ コピー方法を選択

より便利に

データをFOMA端末へコピーする

<例：スケジュールをFOMA端末へコピーする>

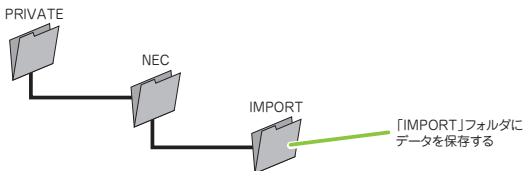
1 MENU ▶「便利ツール」▶「microSD」▶「microSDデータ参照」▶「スケジュール」▶ ファイルを反転 ▶ MENU［サブメニュー］▶「本体へ追加コピー」または「本体へ上書コピー」▶ コピー方法を選択 ▶ 端末暗証番号を入力 ▶「YES」

データをmicroSDカードにバックアップする

すでにmicroSDカード内にバックアップされたデータが存在する場合は、そのデータは上書きされますのでご注意ください。

1 MENU ▶「便利ツール」▶「microSD」▶「バックアップ／復元」▶「microSDへバックアップ」▶ 端末暗証番号を入力 ▶「YES」

microSDカードのデータをFOMA端末で利用できるようにする

パソコンなどからmicroSDカードにデータを保存するときに、「IMPORT」フォルダにデータを保存すると、自動的にFOMA端末で利用可能なファイル名に変更し、microSDカード内の適切なフォルダに振り分けることができます。

1 MENU ▶「便利ツール」▶「microSD」▶「ファイル一括取り込み」▶「YES」▶ 結果を確認して 📷［完了］

より便利に

- 一括取り込みが可能なファイルの種類は、次のようになります。（）内は拡張子です。
  - -静止画（JPG、GIF、SWF、JPEG※1）
  - -動画（ASF、3GP、SDV、MP4、WMA、WAX、ASX、WMV、WMX）
  - -音楽データ（MP3）
  - -メロディ（MLD、SMF、MID、MIDI※2）
  - -トルカ（TRC）
  - -デコメアニメ®テンプレート（VGT）
  - -PDF（PDF）
  - -ドキュメント（DOC、XLS、PPT、PPTX、DOCX、XLSX、TXT）
  - -文字入力学習データ（IPM）
  - -ユーザ辞書（SVD）
  - -現在地通知（LSC）
  - -電話帳（VCF）
  - -カレンダー（VCS）
  - -受信メール、保存メール、送信メール（VMG）
  - -フリーメモ（VNT※3）
  - -Bookmark（VBM）

※1：取り込み後は拡張子が「JPG」に変わります。DCF規格ファイルは「DCIM」フォルダ配下に、それ以外は「PRIVATE／DOCOMO／STILL」フォルダに移動されます。
※2：取り込み後は拡張子が「MID」に変わります。
※3：N-03Cで作成したメモにはスケジュールも含まれ、VCSとなります。

赤外線通信を使ってデータを送受信する

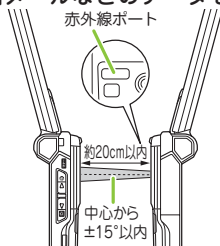
赤外線通信機能を搭載したほかの機器との間で電話帳や受信メールなどのデータを転送します。

・相手側の機器を受信状態にしてください。
・相手側の機器によっては送受信できないデータがあります。
・本FOMA端末はIrMC™1.1規格に準拠しています。

赤外線ポート
約20cm以内
中心から±15°以内

■ データを1件送信する

❶ 送信したいデータの画面で MENU［サブメニュー］▶「赤外線送信」

❷ 赤外線ポートを相手側の機器の赤外線ポートに向ける ▶「YES」

■ データを1件受信する場合

MENU ▶「便利ツール」▶「赤外線受信」▶「受信」▶ 赤外線ポートを相手側の機器の赤外線ポートに向けて受信 ▶ 受信が完了したら「YES」

ｉC通信を使ってデータを送受信する

ｉC通信とは、FOMA端末とほかのFOMA端末を重ね合わせるだけで、電話帳などのデータを送受信できる機能です。

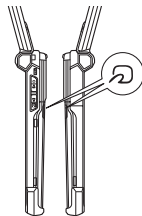
・相手側の機器によっては送受信できないデータがあります。

■ データを1件送信する

❶ 送信したいデータの画面で MENU［サブメニュー］▶「ｉC送信」

❷ 相手のFOMA端末の マークを重ね合わせる ▶「YES」

■ データを1件受信する場合

相手のFOMA端末と マークを重ね合わせる ▶ 相手のFOMA端末からデータ送信の操作を行う

パソコンと接続する

FOMA端末とパソコンを接続して、microSDカード内のWMAファイルや画像などをやりとりすることができます。また、インターネットに接続して、データ通信を行うこともできます。

- FOMA 充電機能付USB接続ケーブル 02（別売）またはFOMA USB接続ケーブル（別売）が必要です。
- データ通信を行うには、付属のCD-ROMからFOMA通信設定ファイルをインストールする必要があります。詳しくは付属のCD-ROM内の「パソコン接続マニュアル」をご覧ください。